

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人ブラナの森 はるにれ園			
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		～	2025年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～	2025年2月15日
○従業者評価有効回答数		7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	部屋が複数あるので、活動ごとに部屋を変え、メリハリを持った療育が行える。園庭や広いホールでたくさん身体を動かすことができ、同法人の畑ではさつまいもの収穫体験や梅の収穫体験も行っている。ご厚意で田んぼもお借りすることができ、田植えと稲刈り体験もすることができる。	本物に触れる機会を大切にしている。絵や写真で視覚的に伝える事で活動の見通しを持ち、安心して過ごすことはできるが、実際に体験し、物の重さや温度、固さ、触感、扱い方などを自分で体感し、考えて行動できるように支援を行っている。苦手な感覚刺激があるお子さんもあるので、まずは友だちの取り組みを見学し、“ちょっとやってみようかな”を引き出す事を大切にしている。	同法人の協力も得ながら農業体験を行うことができていますので、はるにれの職員だけでなく、他事業所のスタッフさんとお子さんに関わる時間を大切にし、コミュニケーションの幅を広げていけるように活動を進めていきたい。
2	年中行事が充実しているので、季節の移り変わりを感じながら1年間過ごすことができる。1月の団子さしから始まり、4月のお花見や10月のハロウィン、12月のクリスマスなど季節の流れを感じ、行事の由来なども伝えながら取り入れている。	お子さんたちに分かりやすいように視覚的に伝えながら、楽しく行事に参加できるようにメンバーや時間帯、場所などを担当の職員を中心に職員全体で検討している。なので、参加できないおさんはおらず、そのお子さんの参加できる内容を考え、全員が楽しかった思いをして終われるように取り組むように意識している。	今は各行事、職員が中心になって進めているので、今後は放デイのお子さんを中心にお子さんたちに飾りつけや出し物などを考えてもらい、みんなで作り上げる行事も開催してみたい。
3	はるにれまつりや親子行事、保護者会などを行い、お子さんがはるにれ園で過ごす様子を見てもらったり、保護者の方たちが交流したりする場を年に数回設けることができる。	保護者さんたちはなかなか療育というものがどんなものなのかイメージがつきにくいと思うので、実際に小集団活動を見ていただき、お子さんたちの頑張りと成長を見ていただくことで安心して療育に通わせていただくことができると感じている。また、保護者さんたちの交流の場を設けることで、1人で悩まずに相談相手ができたりと、きっかけづくりをしている。	保護者会は、今は座談会のような形式での開催が多いので、少しずつ同年代のお子さんを持つ保護者さんの会や、先輩保護者さんの話を聞く会など、交流の輪を広げる会にする事はもちろんだが、保護者会を行う意味付けを明確にしたうえで開催もセッティングしたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同法人のこども園が近くにあり交流することもできるのにも関わらず、その機会を設けることがなかなかできていないことがもったいないように感じる。	自分たちからこども園へ関わりを持ちたいことを積極的に発信できていない現状がある。日々の療育内容が固定化されないよう、こども園とも連携を図りながら一緒に楽しめる活動を検討していく。	年間行事を検討する年度末のタイミングでこども園との交流会の日程を決め、新年度にすでに予定されている状態で進めていけるとスムーズに取り入れられるのではないかと考えている。はるにれ園ではリトミックなど小集団での活動の充実を図っているので、健常のお子さんとも交流をもちながらリズム活動を行っていきたい。
2	職員1人ひとりの療育に関するスキル不足を感じる。	県の案内などで研修には積極的に参加させていただいているが、発達障がいに関しての研修にもっと参加し、TEACCHやコミック会話、ソーシャルスキルトレーニング、強度行動障害など、療育を行う上で必要な知識を身に付けるようにしていく。	研修で学んだことを療育に取り入れる。また、園内で事例検討会を定期的に行い、お子さんの行動にはどんな意味があるのかを職員で考え、お子さんの成長にとって大切な支援を見出し、個別支援計画に反映させて療育を進めていけるようにする。
3	中高生の受け入れの場がないため、支援や福祉が途切れてしまっている現状がある。	はるにれ園での放デイは現在小学生までの受け入れとなっており、中高生の療育の場がない。実際は18歳までの受け入れをしていかなくてはならないが、現在小学6年生で卒園という形をとらせていただいている。	早急に体制を整えて、中高生の受け入れを開始するよう検討する。保護者さんのニーズはあるので、出来るところから少しずつ利用へと繋げ、途切れない支援の提供に努める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		社会福祉法人プラナの森 はるにれ園					公表日		7 年 3 月 1 0 日					
							利用児童数		21名		回収数		18名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応					
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	89%	11%	0%	0%	・運動の部屋で楽しく遊んでいる。 ・広いに越したことはない。		・園舎の良い所を活かし、活動の展開を 心がけていく。					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	83%	0%	0%	17%			・契約時にお伝えすることに加え、年に 1回全体にお知らせする。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・分かりやすい環境が整っていて、段差など なくバリアフリーで綺麗な空間である。		・各部屋の入口にマークが提示されている。また、 お子さんの顔写真をロッカーに提示し、視覚的に分 かりやすくしている。今後も、お子さんに合わせて の環境への配慮を心がけていく。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・広い空間があり、のびのびと走り回 ることができている。		・活動内容やお子さんの年齢に合わせ、活動場所 (部屋)を決めている。 ・都度、玩具の整理や掃除等を行い、清潔に努めて いる。					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・子どもの言葉が増え、行動の切り替えも理解で きるようになってきて成長を感じている。 ・子どものペースに合わせていただいていると感 じる。		・今後も職員間で情報の共有を図り、一 貫性のある支援を心がけていく。					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%			・支援プログラムの見直しを定期的に行 い、より良い支援の提供に努める。					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	100%	0%	0%	0%			・今後も保護者の方のニーズやお子様の 発達段階に合わせた支援企画の作成に努 めていく。					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	90%	5%	0%	5%	・子どもの成長に合わせて具体的に記載 されていると思う。		・個別計画作成後、保護者の方に説明し ながら交付できるよう努める。					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	90%	5%	0%	5%			・今後も療育記録用紙に目標を明記し、 支援計画に沿った支援を行う。					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	84%	5%	0%	11%	・季節に合わせて色々な経験をさせて頂 いている。		・今後も季節に合わせた活動や行事等 を取り入れ、日々お子さんが楽しいと感じ ることができる活動を取り入れていく。					
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	78%	5%	0%	17%			・同法人のこども園の園庭に遊びに行く 機会を設け、交流を図った。					
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%			・契約時に説明しているが、その他、必 要に応じて説明の場を設け、説明方法も 工夫していく。					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	95%	0%	5%	0%			12同様の対応					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	68%	5%	5%	22%			・必要性も周知していく。 ・周知した上でお知らせをする。					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	95%	0%	5%	0%	・送迎時に園での状況や体調などを伝え 合うことができていると思う。		・連絡ノートのやりとりや送迎時の伝達 で共通理解に努める。 ・定期的な面談も設けいていく。					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	84%	11%	5%	0%			・計画、変更時に面談を設け、寄り添っ た支援を目指す。					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	・園での出来事を嬉しそうに知らせてく れる。		・今後もお子さんの気持ちや感情に寄り 添い、理解に努めていく。					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	95%	5%	0%	0%	・夏祭りなどイベントがある。 ・定期的に保護者との交流の場が開催さ れており、話をすることでリフレッシュ できる。 ・親子行事がもっと増えてほしい。		・保護者さん同士がお話できる場を 検討・実施する					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	95%	0%	0%	5%			・全職員が対応できるよう、日々の伝達 を行っている。 ・相談窓口等、保護者の方が分かりやす いよう掲示していく。					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	100%	0%	0%	0%	・迎えの際に先生方と話をする時間を 取っていただいている。		・送迎時に保護者の方へお話ししたり、面 談の時間を設け、情報の伝達に努めてい る。					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	89%	11%	0%	0%	・おたよりが月1になると嬉しい。 ・写真などで行事の様子がうかがえた。	・今後もおたよりやホームページ、玄関に写真を掲示する等、お子様の様子、療育の内容を発信していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		・契約時に個人情報取り扱いに関しての同意書にサインを頂き、十分に注意を払っている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	78%	0%	0%	22%	・感染症対応、緊急時対応のマニュアルの説明はあった。	・BCP導入活用
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	67%	0%	0%	33%		・工夫した訓練(マンネリ化防止)
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	89%	0%	0%	11%		・定期的に工夫し訓練を行っている。 ・訓練の様子も、おたよりやホームページ等でお知らせしていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	95%	0%	0%	5%	・子どもがぶつけるなどした際に、迎える時に伝えてくれる。	・全職員で周知し、保護者の方に伝えていくようにする。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	・子どもが先生達を頼って通っている。 ・泣かずに登園できている。	・お子さんの思いや育ちに寄り添い、お子さんが安心して通い、楽しんでもらえるよう活動の内容を検討する
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	・楽しく通っている。 ・先生方が大好きで通所をとても楽しみにしている。 ・好きなお友だちもいて、笑顔で過ごせている。	・お子さんに合った支援を提供しながら、楽しく過ごせるよう職員一同努める。
	29	事業所の支援に満足していますか。	95%	5%	0%	0%	・子どものペースに合わせて支援をしていただいている。	・今後も療育内容を充実させ、笑顔でお子様と保護者の方が利用して頂ける支援を目指す。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7 年 3 月 10 日				
社会福祉法人プラナの森 はるにれ園						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	利用人数や年齢等により活動や場所を分けて安全確保の工夫をしている。	引き続き、子どもたちがじっくりと活動に取り組めるよう、また、安全面に配慮しながらグループ等の調整をしながら過ごう。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	お子様が安心して活動に入れるよう職員を配置している。	引き続き、お子様が安心して活動に入れるよう職員配置を検討していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	各部屋ごとにマークで示している。また、スケジュールカードを使用し、お子様に合わせて視覚的に提示している。	修繕が必要な個所を定期的に確認しながら、安全な環境を保っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83%	17%	朝夕の清掃に加え、都度、玩具等の整理や消毒等を行い、清潔で心地よく過ごせるよう配慮している。	引き続き、こまめな清掃や整理整頓を心がけ、心地よい環境を保つ。危険個所等の確認も行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	お子様の様子や状況に合わせて、個別の活動や場所の提供をし、安心して過ごせるよう配慮している。	引き続き、お子様が安心して過ごせるよう必要に応じて対応していく。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	会議やミーティングを密にすることで、日々の業務改善に取り組んでいる。	今後も、PDCAサイクルを意識し、業務改善を行っていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者の方の意見を受け止め、業務改善に努めている。	保護者の方の声を大切に検討を重ねていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員面談を実施している。また、日頃のミーティングや会議において全職員が意見を出しやすい雰囲気作りを心がけている。	引き続き、各々の意見を尊重し合いながら、業務改善に繋げていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	監事による事業所見学を行っている。	更なる業務改善にむけ、第三者の外部評価をしていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	各職員が研修に参加する機会をいただいている。法人内でも研修を行い、スキルアップを図ることができている。	研修後の報告をし、職員周知をしていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムの作成を行っている。	作成はしているが、まだ公表はされていないので、早期の公表に努める。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	利用開始時に、保護者の方から話を伺ったり、お子様の様子をアセスメントし、個々の個別支援計画を作成している。	今後も、お子様や保護者の方のニーズに耳を傾け、支援計画を作成していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	全職員で話し合い、支援計画の作成を行っている。	引き続き、全職員で話し合い、共通理解を図り支援計画の作成を行っていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援計画を職員間で共有し、一貫した支援を心がけている。	引き続き、職員間で支援内容を共有し療育を行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	病院からいただいた発達検査や知能検査書類等を参考にし、お子様のアセスメントを行っている。	引き続き、病院からいただいた書類や独自のアセスメントツールを使用し、現状把握に務めていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	個々の支援計画に支援内容を取り入れ、具体的に記載している。	それぞれのお子様にあった支援内容を取り入れ、具体的な支援内容を記載していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	担当職員を決め、その職員が中心となり活動プログラムを面等している。	職員間で検討を重ね、より良い活動を目指す。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	担当職員を定期的に変更することにより、固定化しないように努めている。	固定化しないよう工夫しながら、変化に弱いお子様もいる為、安心して過ごせる環境を目指していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	お子様が安心して楽しく過ごせることを心がけ、活動を計画している。	引き続き、個々のお子様に合わせて個別活動と集団活動を取り入れていく。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	支援開始前にミーティングを行い、確認を行っている。	引き続き、事前ミーティングを行い、共通理解に努める。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	支援開始前にミーティングを行い、振り返りや確認を行っている。	今後も継続し実施していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	療育の内容、連絡ノートの内容、保護者の方とお話したことなど、個々の記録に残している。	引き続き、個々の記録を徹底し、必要に応じて検証、改善をしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	半年ごとにモニタリングを実施し、保護者の方からお話を伺い、必要に応じて見直し等をしている。	引き続き、定期的なモニタリングを実施していく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	職員全体で資料作成を行い、会議に臨んでいる。	今後も、積極的に会議に参加していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	協力医療機関の設定をしている。	受け入れる際、連携を密にする。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	担当者会議の際にお子様の様子をまとめ、引継ぎをしている。また、情報の共有をすることで、お子様の共通理解を図っている。	今後も、担当者会議に積極的に参加していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	担当者会議で引継ぎを行っている。また、必要に応じて書類作成を行っている。	今後も、担当者会議に積極的に参加していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	100%	0%	担当者会議などを通して、アドバイスを受ける機会を設けている。	引き続き、連携を図っていく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	83%	17%	隣接する同法人のこども園の園庭を利用する機会を設け、交流を図っている。	今後も交流できる機会を検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	連絡ノートにお子様の様子を記入したり、送迎時に直接保護者の方に伝えたりし、共通理解を図っている。	引き続き、連絡ノートや送迎時の時間を活用するとともに、定期的に面談も設けていきたい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	83%	17%	保護者の方から相談があった場合など、必要に応じて研修等の情報提供を行っている。	保護者会等で講師の方に来ていただきペアレントトレーニング等の機会を設けていきたい。
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に行っている。	必要に応じて説明する機会を設けながら寄り添った支援を目指す。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保護者の方からの聞き取りや、お子様の様子などから意向を汲み取り、計画を作成している。	引き続き、保護者の方やお子様の意思を尊重した計画の作成を心がけていく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	自発管が行っている。	今後も引き続き行っていく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	定期的にごちからからお声掛けし、必要に応じて事業所内相談の時間を設けている。	引き続き、定期的な面談を設けていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	親子行事や保護者会を開催し、保護者の方の交流の機会を設けている。	保護者の方同士が交流できる機会を増やしていけるよう検討していく。きょうだい同士で交流する機会も検討していく。

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	保護者の方のお話を大切に、関わりを設けている。また、事業所内相談の実施に努めてきた。	今後も要望の内容を聞き、適切に対応していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	2ヶ月に1度のおたより発行、玄関写真の掲示を行っている。	HPやSNSを活用し、定期的な情報発信に努める。また、内容の充実も図っていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	鍵のかかるキャビネットで保管、管理している。	引き続き、取扱いに十分に注意を払っていく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	口頭だけでなく、連絡メールを活用し、各家庭に合わせた対応を心がけている。	引き続き、各々に合わせた情報伝達を行っていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	夏祭りに近所の方を招待し交流を図った。	今後も周知活動を強化し、地域住民との交流を図る。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	緊急時対応マニュアル等を掲載することで、全職員の周知へと繋げていく。	引き続き、周知していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	感染症が発生した際に法人内での流れを定め、それに基づき運営を行った。	今後も、必要に応じ訓練等を行っていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	利用時や年度初めに記入していただいているアセスメントシートに、服薬等についても記入していただいている。	必要に応じて対応していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	利用時や年度初めに記入していただいているアセスメントシートに記入していただき、尚且つ、検査結果を提出していただいている。	必要に応じて専門家の意見も取り入れ、対応していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	避難訓練や安全指導の計画を作成し、定期的に訓練を行っている。	引き続き、定期的な訓練に取り組み、安全に努めていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	避難訓練や安全指導について年間計画等で周知している。	引き続き周知していくと共に、
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	少しでも気付いたことがあれば職員間で共有し、ヒヤリハット作成へと繋げている。	今後もヒヤリハット作成を続け、事故防止に努めていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止研修に参加し、全職員へ周知している。	今後も、全職員対象として研修を受けていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	83%	17%	身体拘束となることがないよう、日々の療育に努めている。万が一そのような状況が起きる場合は、事前に保護者の方と情報共有を行っている。	引き続き、身体拘束となることがないよう職員間で意識を高めていく。必要に応じて保護者の方と検討し、個別支援計画に記載していく。